

多世代・多文化協働による地域連携型教育プログラムの展開

— 学生と地域が共に学び合う「コミュニティベースラーニング」の実現をめざして —

目的:

龍谷大学に在籍する一人でも多くの学生が、地域連携活動に関わりを持ち、卒業後も地域と関わりを持ちながら、よりよい社会と自らの人生を創り出すことのできる人間に成長する。

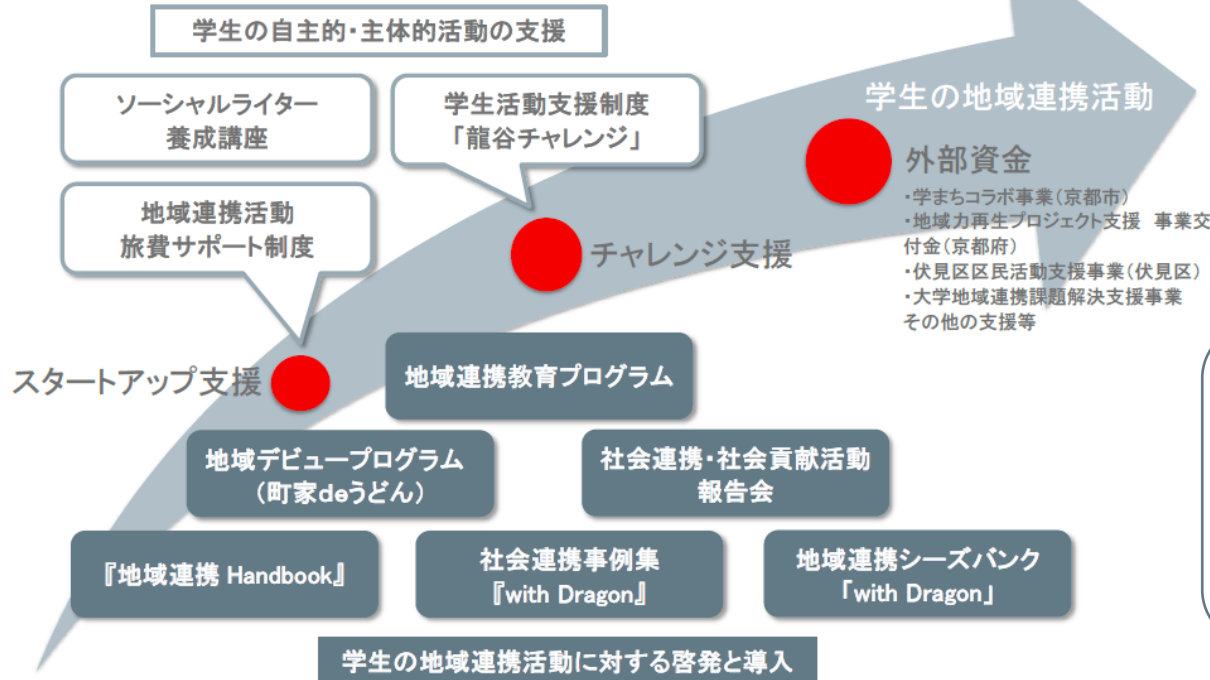
学生の地域連携活動を推進するための取り組みを、既存事業も含めて二つの視点で体系化

「地域に根ざした大学づくり」をめざし、大学全体の地域連携活動を推し進め、学生を啓発する取り組み。

学生の自主的・主体的活動を対象とし、学外資金へのチャレンジも促して、自立的に社会で活躍するよう支援する取り組み。



地域連携活動のサポート



学生の地域連携活動を段階的にサポートし、外部資金を獲得するなど、学生が主体的に持続可能な地域連携活動を展開していくことを応援。

多世代・多文化協働による地域連携型教育プログラムの展開

— 学生と地域が共に学び合う「コミュニティベースラーニング」の実現をめざして —

● 個々の取り組み

＜学生の地域連携活動に対する啓発と導入＞

『地域連携Handbook』の作成・配布

龍谷大学の地域連携に関する情報を簡潔にまとめた冊子を作成し、新入生全員に配布しています。



＜学生の自主的・主体的活動の支援＞

地域連携活動旅費サポート制度の設置

地域連携活動で負担となる学生の交通費をサポートする制度。2017年度に、対象を京都市内の地域に限定してパイロット事業としてスタート。2018年度からは、学内資金を使って、全地域を対象にサポート。地域連携シーズバンク「with Dragon」への掲載を制度利用の条件として設定しています。

地域連携シーズの蓄積と発信

- 地域連携シーズを集めたWEBサイト、地域連携シーズバンク「with Dragon」を開設。
- 『社会連携事例集 with Dragon』を隔年発行。
- 社会連携事例集特別編集として、『EFFECTOR』を発行。タブロイド紙の感覚で誰もが気軽に地域連携活動にアクセスすることを狙いとしています。



『ソーシャルライター養成講座』の開催

学生が主体的な地域連携活動を、より魅力的に、また共感を生み出す情報として発信する方法について学び、実践する講座を開講しています。

地域デビュープログラムの実施

学生がうどんづくりを通じて地域住民と交流し、地域連携活動への関心を高めることを目的として、地域デビュープログラム「町家deうどん」を開催。多世代・多文化交流が実現。



学生活動支援制度「龍谷チャレンジ」の実施

学生の正課外における自主活動及び地域と連携した社会貢献活動を支援する助成制度。書類審査や面接審査を経て、採択団体には最大30万円の支援を行います。龍谷大学独自の資金で実施しています。

地域連携プログラムの実施

学生が学部を超えて取り組むCBLです。2017年度は、京阪ホールディングスと連携し、「京阪沿線活性化プロジェクト」を実施。公募により集まった学生と留学生が協働して、地域活性化プランを提案しました。

社会連携・社会貢献活動報告会の開催

地域の活性化で活躍する著名な方による講演と、学生の地域連携活動の事例紹介、パネルディスカッション等により、学生の地域連携活動への興味・関心を高めています。2017年度は、京都教育大学と連携して開催しました。